



ハロウィンのお出かけ



10月31日(金)まさにハロウィンの日、

コスモスの家デイサービスセンターに行ってきた。こすもす保育園からコスモスの家まで、頑張って歩いて行きました！園児たちの可愛い姿に利用者さんも大喜び！歌を歌ったり、手遊びをしたり、プレゼント交換をしたり、楽しいひと時を過ごすことができました。これからも、コスモスの家との交流を深めたいと思っています。



頑張って歩いたよ



楽しかったね！



プレゼントです！



絵 楽しく！



11月2日「ふれあいまつり」に今年描いた絵の中から、それぞれが選んだ作品を展示させていただきました。

宮前コスモスの家は、今年の6月から同じ町内にある河畑さん宅に変わりました。他にも場所を探しましたが、宮前コスモスの家のモットーは、「すべてが家庭的であること」です。普通のお宅のお部屋を使用させていただけることを、大変ありがたく思っています。7人の仲間たちと毎月1回楽しく絵を描いています。遠方からおいでくださる栗山先生のご指導のもと、先生に感謝しつつ楽しんでいきます。



板垣尚子記



うれしかったのし ワキマツカ

10月30日、全曜日利用者さんからの希望者17名の参加をいただき、センター南駅を出発。道中、おしゃべりをしたり、赤や黄色に色づいた紅葉を拾ったりしながら、川和富士までのウォーキングを楽しみました。お弁当は各自持参で、手作りのおかず、果物やお菓子でお腹いっぱい！しりとりゲームで大笑い！他の曜日の方々とふれあいが持てた秋の一日でした！



アリーノ(生涯学習支援施設)のフリースペースをお借りして、4年ぶりに全曜日合同の作品展(11/11~11/14)を開催いたしました。

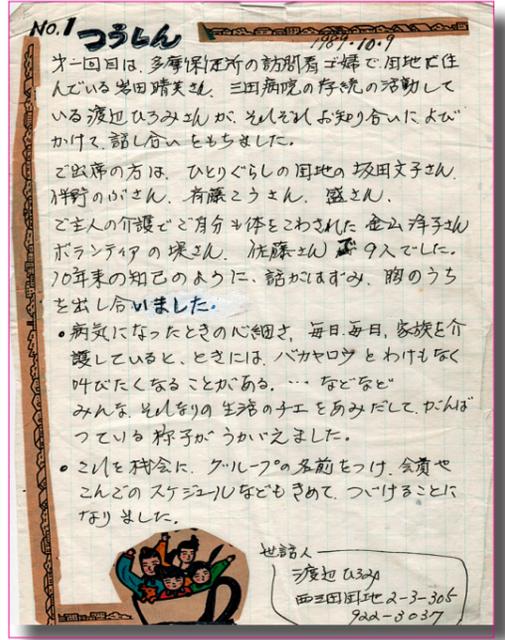
皆さんが有馬コスモスの家で作った手芸、書道、絵を地域の方々に観ていただけて、これからの励みにもなりました。この作品展をきっかけに2名の新しい利用者さんが増えました。山口洋美記



コスモスだより 創刊100号

コスモスの家が発足してから25年、四半世紀が経とうとしています。コスモスだよりも発刊から100号となりました。初号は、1989年(平成元年)10月9日。最初は手書きの「つうしん(下図)」でした。

内容も利用者に当てたおたよりでしたが、現在は、利用者、スタッフの他に川崎市福祉行政関係部署、介護保険事業所、社会福祉協議会、多摩保健福祉センター等に配付しています。初期の頃は、何もかもが手作り。パソコンはおろか、ワープロも家庭にはなかった時代です。新聞や広告のチラシから文字やイラストを切り抜き、写真を切り貼りして、毎回手書きのつうしんを苦労して発行していたそうです。スタッフも徐々に増え、ワープロを使える人が入ってからは、冊子形式の「コス



2014年冬号 No. 100
 〒214 0034 川崎市多摩区三田二一五-13
 TEL 044-931-1455 FAX 931-2440

「コスモスだより」を発行することができました。平成13年からは、カラーとなり、現在に至っています。今回、100号発行に当たり、過去の資料を見ていくと、掲載されている内容も初期の頃とはかなり変化していることがわかりました。有志のミニデイサービスから、介護保険事業所となり、デイサービス、ホームヘルプサービス、ケアマネジメント、夕食宅配、宮前コスモスの家、有馬コスモスの家、ふれあいセンター、めだかの地域大学、こすもす保育園の9事業を運営する組織となり、時代の変化、コスモスの家の変化に伴い、事業所内部のことだけではなく、介護保険制度の今後、NPO法人としての役割など様々な視点で情報を発信していくようになっていきました。

★初号の「つうしん」作者の苦勞が偲ばれます

ワープロと手書きで作成
 別冊でしょうか？健康だより
 集会所から平屋の賃貸に移った頃

10がつ31日 10:00~3:00
 コスモスの家
 今日の日食は、コスモスの家分当
 連絡先 7-1-503 若田 933-2561
 2-3-305 津辺 922-3037

平成13年から印刷に！



コスモスの家の歴史を伝えてきました...

これからも、介護保険事業の枠を超えて、NPO法人としての役割と地域福祉活動の情報を発信していきたいと思っております。
皆様のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。
藤井さゆみ記

第12回 ふれあいまつり 開催!

毎年恒例のコスモスの家「ふれあいまつり」が11月2日(日)開催されました。
今年で12回目を迎える三田ふれあいまつりですが、地域の方々にも知っていただくようになり、たくさんの方々が来てくださりました。



恒例のバザー

らしい天気恵まれ、午前中は、バザーと喫茶室、午後は五反田自治会婦人部によるコーラス、三田ハーモニカ愛好会の二カ愛好会の方々の演奏を楽しみました。

心が癒されました。
コーラスを指導されている住吉佐和子さんの独唱は圧巻で、透き通るような歌声にみなさん聴き惚れていました。



五反田自治会婦人部コーラス

三田ハーモニカ愛好会の演奏は、ギターやウクレレも加わり、アンコールも含めて20曲、日頃の練習の成果を發揮することが出来ました。



住吉佐和子さん

終盤には、演奏者の一人、中山イネ子さんが、「お富さん」の曲に合わせて踊りを披露、観客の方の手拍子で大盛り上がり！

開催当初は、コスモスの家主催でしたが、今では北村隆英実行委員長を中心に「三田ふれあいまつり実行委員会」が主催、コスモスの家とコスモスの家を支える会との共催となり、川崎市多摩区社会福祉協議会の後援をいただくまでになりました。
「三田ふれあいまつり」は、地域の皆さんとの交流はもろろのこと、日常生活に欠かせない三田商店街の活性化、地域住民が便利に利用し、楽しく暮らせる「三田まちづくり」を進めていくという目的もあります。

開催に当たっては、三田郵便局を始め、商店街の中から24店舗の協賛をいただきました。
当日は、秋晴れの素晴



北村隆英実行委員長

家のスタッフが作るお赤飯やお稲荷は人気があり、あつという間に売り切れてしまいます。喫茶室の豚汁、ボランティアの方の手作りケーキセットも好評です。
また、東北支援物資販売として、南相馬市のNPO法人あさがお作業所が作っているふりかけとお味噌を販売しました。

石川県産の新米も人気商品です。

午後からは、五反田自治会婦人部のコーラス。美しい歌声がホールいっぱいに響き渡り、



地域の方々からの出品作

アンコールをいただきました。
地域の交流の場として「三田ふれあいまつり」をこれからも続けていきたいと渡辺理事長から閉会の挨拶がありました。

藤井さゆみ記



三田ハーモニカ愛好会による演奏